

**【概要・目標】**

保健看護学の現場は対人援助の現場であり、情報収集・伝達、意味・価値観の共有、関係の構築・理解の対人コミュニケーションの現場でもある。コミュニケーション学を知らなくとも、我々はその「場」に身を置いている時点で誰もが既に実践者である。しかし、対人コミュニケーションの原理や機能を知ること、実践をより効果的なものに改善することや、失敗やトラブルの発生理由を見出すことが可能になる。本科目ではそのような実践に資する基礎的な理論を学ぶ。

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) 第4回以降のテキスト選定
- 2) 能智・大橋(2021)を読む
- 3) 大塚・柳田・山下(2023)を読む
- 4) 楠見(2024)を読む
- 5) ポライトネス関連の英語文献購読
- 6) ポライトネス関連の英語文献購読
- 7) 会話分析の英語文献購読
- 8) ナラティブ分析の英語文献購読
- 9) 大学院生によるプレゼンテーション
- 10) 喪失体験研究の文献購読
- 11) 喪失体験研究の文献購読
- 12) 喪失体験研究の文献購読
- 13) エスノグラフィの文献購読
- 14) オートエスノグラフィの文献購読
- 15) 大学院生によるプレゼンテーション

**【評価】**

- 毎回の授業の前にテキストを読み、自身が考えたことを A4 用紙 1 枚(表紙不要で本文 1 枚のみ)にまとめる「ディスカッション・ペーパー」を毎回用意して提出すること。これが評価の 60%。
- 第9回及び第15回のプレゼンテーションが評価の 40%である。

**【テキスト】**

第2-4回については：能智正博、大橋靖史(編)「ソーシャル・コンストラクションニズムと対人支援の心理学」新曜社 2021

大塚生子、柳田亮悟、山下仁(編著)「イン／ポライトネスの新たな地平」三元社 2023

楠見友輔「アンラーニング質的研究」新曜社 2024

※以下、多数

**【推薦参考図書】**

ヘリテッジ・メナード(編著)「診療場面のコミュニケーション」勁草書房 2015

藤崎和彦(監修)「医療者教育のビデオ・エスノグラフィ」晃洋書房 2018

シャロン 他7名(著)「ナラティブ・メディスンの原理と実践」北大路書房 2019

**【その他】**

アポイントメントは電子メールにて：masuda@wakayama-med. ac. jp